

日本哲学会会員連絡（2015年夏）

2015年8月5日

日本哲学会事務局

<目次>

- I 新役員(2015-2016年度)
- II 2015-2016年度組織
- III 第67回総会及び第74回大会（於上智大学 2015年5月）報告
- IV 第68回総会及び第75回大会（於：京都大学 2016年5月）概要及び募集告知
- V 公募論文募集告知
- VI その他

I 新役員(2015-2016年度)

下記過程を経て新役員が決定しました。

① 評議員選挙

2014年10月、郵送による全会員投票選挙を実施。11月6日上智大事務局（大橋容一郎事務局長、寺田俊郎・長町裕司事務局幹事）及び次期一橋大事務局（加藤泰史、干場薫）立会のもと開票が行われ、48名が評議員に選出された。

投票者総数：196名、投票率：14%。

② 理事及び会計監査選出

2015年1月、評議員の中で理事及び会計監査の相互選出を実施。2月25日上智大事務局（大橋容一郎事務局長、寺田俊郎・長町裕司、事務局幹事）及び次期一橋大事務局（加藤泰史）立会のもと開票が行われ、16名が理事及び2名の会計監査が選出された。

総投票者数：43名、投票率90%

③ 会長選出

5月17日第1回新理事会に於いて、理事の互選により、加藤泰史理事が会長に選出された。

④ 事務局長および事務局幹事

6月20日第2回理事会において、事務局校の大河内泰樹が事務局長に就任することが決定し、日本哲学会規則により理事に選出された。また、事務局幹事として井頭昌彦、馬場智一の就任も決定された。

⑤ 推薦理事選出

6月20日、第2回理事会において推薦理事の検討が行われ、4名が推薦された。全員に就任の承諾を得、20名の理事会が構成された。

⑥ 編集委員選出 6月20日、第2回理事会において編集委員の検討が行われ、35名に編集委員を委嘱した。また、編集委員長には中畑正志理事が就任することが決定され、7月

18日に開催された第一回編集委員会にて了承された。

⑦ 推薦評議員選出

7月18日、第3回理事会において、推薦評議員の検討が行われ、4名が推薦された。全員に就任の承諾を得、52名の評議員会が構成された。

<新役員（敬称略、50音順）>

【会長】加藤泰史

【事務局長】大河内泰樹

【事務局幹事】井頭昌彦、馬場智一

【理事（21名）】

飯田隆、和泉ちえ、伊勢俊彦、伊勢田哲治、大河内泰樹（事務局長）、大橋容一郎、加藤泰史、金井淑子、木村博、河野哲也、榊原哲也、杉田孝夫（推薦理事）、田口茂（推薦理事）、田坂さつき、種村完司（推薦理事）、戸田山和久、直江清隆、中畑正志、納富信留、森一郎（推薦理事）、森下直貴

【会計監査】

一ノ瀬正樹、寺田俊郎

【編集委員長】中畑正志

【編集委員（34名）】

<2期目>

石川伊織、一ノ瀬正樹、上原麻有子、金杉武司、河谷淳、川本隆史、周藤多紀、田口茂、戸田剛文、松田純、松田毅、御子柴善之、村上靖彦、村松正隆、森一郎、湯浅正彦

<1期目>

池田真治、荻原理、加地大介、加藤和哉、木阪貴行、木村博、久米暁、蔵田伸雄、古賀徹、佐々木一也、津崎良典、土橋茂樹、中真生、長島隆、貫成人、宮野真生子、森下直貴、森田邦久

【評議員（52名）】

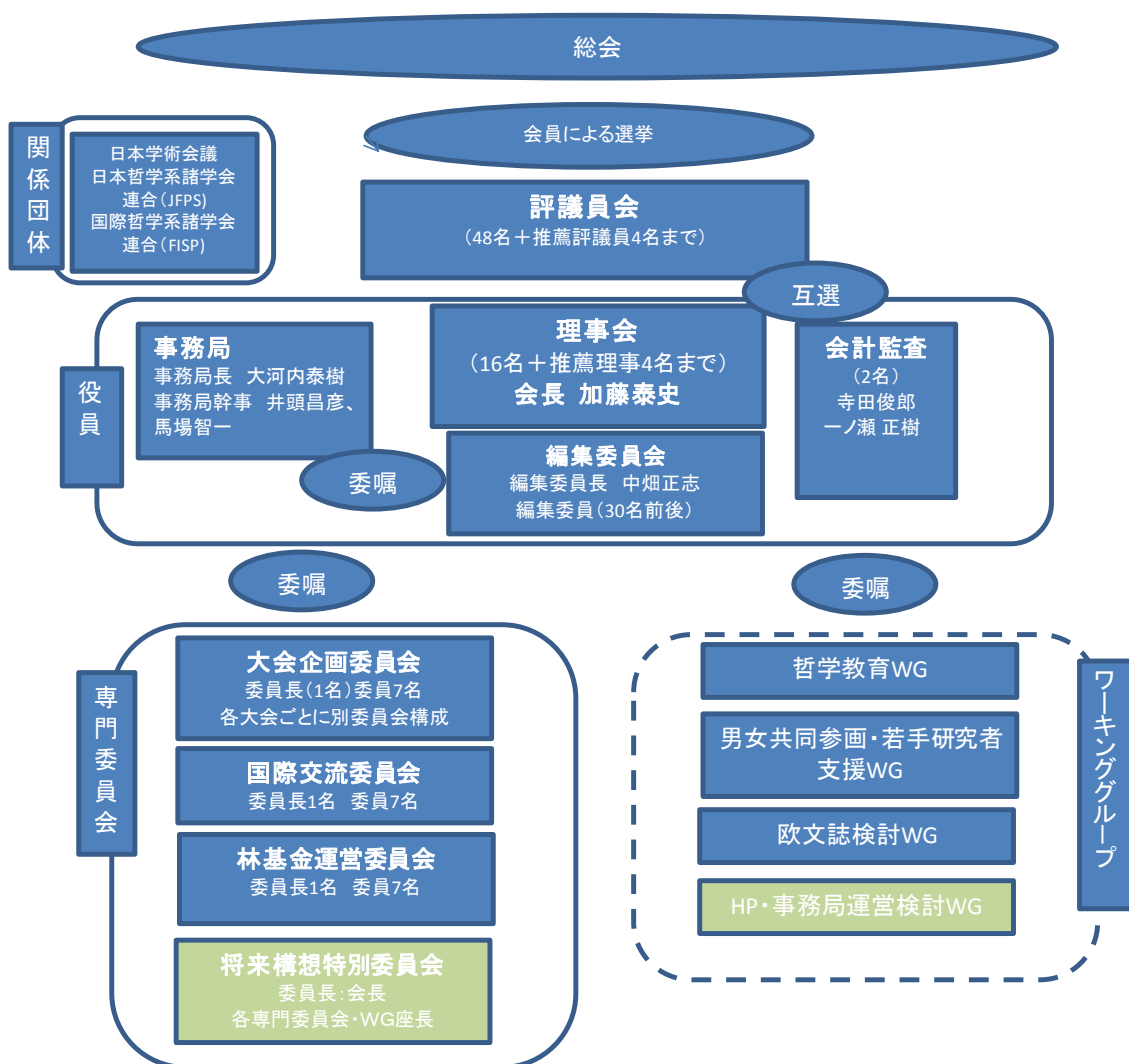
飯田隆、石井潔、和泉ちえ、伊勢俊彦、伊勢田哲治、一ノ瀬正樹、伊藤邦武、上野修、大橋容一郎、尾関周二、片山善博、加藤泰史、金井淑子、金山弥平、川本隆史、神崎繁、木村博、蔵田伸雄、河野哲也、斉藤直子（推薦評議員）、酒井潔、榊原哲也、杉田聡、杉田孝夫、平子友長、高田純、高山守、田口茂、竹内章郎、竹島あゆみ（推薦評議員）、武田一博、田坂さつき、種村完司、津田雅夫、出口康夫、寺田俊郎、戸田山和久、直江清隆、中真生（推薦評議員）、中畑正志、納富信留、野家啓一、野矢茂樹、牧野英二、牧野広義、御子柴善之、水野邦彦、村田純一、森一郎、森下直貴、吉原雅子（推薦評議員）、渡辺憲正

II 2015-2016 年度組織

① 新組織

- ・哲学をめぐる状況の急激で大規模な環境変化に対応するため「将来構想特別委員会」を設置することになりました。
- ・Web サイトの運用及び効果的な情報発信、会員減等による財政逼迫及びIT化に伴う事務局の効率的な運営方法を検討するため「HP・事務局運営ワーキンググループ」を立ち上げることになりました。

② 組織図



※専門委員会には委員長、WGには座長をもうけ、それは理事が務める

<組織メンバー（敬称略、50音順）>

専門委員会

【大会企画委員会】委員長：榊原哲也

●第75回京都大学大会

加藤泰史、周藤多紀、篠澤和久、鈴木伸国、田中綾乃、出口康夫、松田毅

●第76回一橋大学大会

大河内泰樹、加藤泰史、田中綾乃、松田毅、出口康夫、中真生、森一郎

（各大会8名）

【国際交流委員会】委員長：河野哲也

井頭昌彦、伊勢俊彦、上原麻有子、ヴォルフガング・エアトル、田口茂、寺田俊郎
森田團（8名）

【林基金運営委員会】委員長：大橋容一郎

一ノ瀬正樹、岡本賢吾、加藤泰史、桑原直己、田口茂、中畑正志、美濃部仁（8名）

【将来構想特別委員会】委員長：加藤泰史

井頭昌彦、和泉ちえ、伊勢田哲治、大河内泰樹、大橋容一郎、河野哲也、榊原哲也
直江清隆、中畑正志、納富信留（11名 他数名調整中）

ワーキンググループ

【欧文誌検討ワーキンググループ】座長：納富信留

上原麻有子、斉藤直子、榊原哲也、出口康夫、馬場智一、藤田尚志、村上靖彦（8名）
大河内泰樹、加藤泰史、河野哲也（以上3名オブザーバー）、

【哲学教育ワーキンググループ】座長：直江清隆

井頭昌彦、一ノ瀬正樹、上村崇、梶谷真司、木阪貴行、河野哲也、齋藤元紀、
寺田俊郎、村瀬智之、望月太郎、山田圭一、中川雅道（非会員オブザーバー）
（13名 他数名追加予定）

【男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループ】座長：和泉ちえ

秋葉剛史、飯田隆、池田喬、大河内泰樹、金澤修、河野哲也（副座長）
小島優子、小手川正二郎、鈴木伸国、村上祐子（10名 他数名調整中）
（オブザーバー） 加藤泰史

（アドバイザー）今村純子、岡本由起子、金井淑子、森一郎（他数名調整中）

【HP・事務局運営ワーキンググループ】座長：杉田孝夫

大河内泰樹、大橋容一郎、吉田幸司、山崎薫（非会員 オブザーバー）

（5名 他数名追加予定）

※各委員会・WGの活動については始動後随時ホームページにてご報告して参ります。

Ⅲ 第67回総会及び第74回大会（於上智大学 2015年5月）報告

2015年5月16日(土)、17日(日)の両日、本学会第67回総会及び第74回大会が上智大学において開催され、延べ約800名の参加者がありました。また、15日(金)夕刻に開かれた哲学教育ワークショップには100名を越える参加者がありました。

【総会報告 及び 議決事項】

① 一般報告

2014年度日本哲学会事業報告は、配布済の報告の記載通りに承認された。

② 会計報告

2014年度日本哲学会会計報告は、配布済の報告の記載通りに承認された。

2015年度日本哲学会予算は、配布済の報告の記載通りに承認された。

③ 編集委員会報告においては、神崎繁編集委員長より2014年度32本の公募論文応募があり、66号に6本採用された事が報告された。

④ 国際交流活動報告においては伊勢俊彦国際交流委員長より日中哲学フォーラムについて報告された。

⑤ 林基金運営委員会報告においては、高田純・林基金運営委員長より2014年度1名（植村玄輝氏）に若手研究助成を行った事、及び林基金出版助成の応募があった事が報告された。

⑥ 2014年度若手奨励賞表彰式

阿部将伸氏が若手奨励賞に決定し、表彰が行われた。

受賞論文「キーネーシスとロゴス——初期ハイデガーにおけるキーネーシス解釈」

【一般研究発表及び公募ワークショップ発表者】

一般研究発表1日目 5月16日(土)10時～12時 3号館5階

| | 第1会場533 | 第2会場534 | 第3会場535 | 第4会場536 | 第5会場537 |
|-------------|----------------------------|---|---|--|----------------------------------|
| 10:00-10:40 | ハイデガーの思索における対話相手 | 『プロレゴメナ』におけるカントの観念論批判―「第四誤謬推理」論からの一貫性に注目して― | 最初期ホルクハイマーの思想形成―コルネリウス、レーニンをはじめとする思想家たちとの交差 | ベルクソンにおける宗教性について | トマス・アクィナスにおける時間の実在性について |
| | 中橋誠 | 栗原拓也 | 青柳雅文 | 大沢啓徳 | 芝元航平 |
| 10:40-11:20 | 「確実性」を巡る対決―前期ハイデガーのデカルト批判― | シェリングのポテンツ論についてポテンツは各段階で下がり得るか | 三木清の回心 | ミシェル・セールの感覚論と科学認識論―「混合体 corps mêlés」概念を中心として | トマス・アクィナスにおける《individuation》について |
| | 黒岡佳祐 | 福元隆文 | 玉田龍太郎 | 縣由衣子 | 石田隆太 |
| 11:20-12:00 | | マクダウエルの「第二の自然」について | 他者と物語―物語論と他我問題 | アンスコムの実践的知識論―「それが理解するものの原因となるもの」 | 形而上学とその与件―ホワイトヘッド形而上学の与件の二重性について |
| | | 川瀬和也 | 三ツ野陽介 | 鴻浩介 | 飯盛元章 |

一般研究発表2日目 5月17日(日)13時30分～15時30分 3号館5階

| | 第1会場533 | 第2会場534 | 第3会場535 | 第4会場536 | 第5会場537 |
|-------------|---|--|----------------------------------|--------------------------|-------------------------------------|
| 13:30-14:10 | 「精神の修練 Les Exercices Spirituels」再考：ピエール・アド、教育、そして身体 | Die Lebensphilosophie in Goethes "Naturdichtung" - der Einfluss Spinozas | ヤスパースにおける現象概念と共同性の問題 | パークリにおける原因について『運動論』を軸にして | 「ヘラクレイトスの徒たち」に関する一考察 |
| | 林洋輔 | ツグラッゲンエヴェリン | 山下真 | 竹中真也 | 阪田祥章 |
| 14:10-14:50 | 盲者におけるエクリチュールの問題 | スピノザ『エチカ』における様態概念の定位 産出の因果性に関する研究として | 侮辱はいかにして責任と結びつくか | ヒュームは反ヒューム主義者だった | ファーラービーにおける自然哲学―ウイグル哲学におけるギリシア哲学の受容 |
| | 加賀谷昭子 | 藤野幸彦 | 中村信隆 | 吉岡 悠平 | ムフタルアブドゥラフマン |
| 14:50-15:30 | 人間なき人間学―メルロ＝ポンティとドゥルーズ | ライブニッツ『モナドロジー』の現実世界：偶然的真理と主体の選択 | 規範性と自発性―カント『道徳形而上学への基礎づけ』第三章証明構造 | 目的意味論と進化心理学 | |
| | 小林徹 | 阿部倫子 | 山蔦真之 | 宮園健吾 | |

公募ワークショップ 5月17日(日)13時～15時30分 3号館 4階421

| | |
|-------------|--|
| 13:00-15:30 | 「近代日本における女性哲学史を作る」 オーガナイザー：上原麻有子 提題者：上原麻有子、河野哲也、Christine Lévy、Heisook Kim |
|-------------|--|

IV 第68回総会及び第75回大会（於：京都大学2016年5月）概要及び募集告知

現時点で決まっている2016年度の大会概要は以下の通りです。

開催場所：京都大学

日時：2016年5月14日（土）、15日（日）（13日（金）夕刻 哲学教育ワークショップ）

プログラム（予定）

1日目（5月14日）

一般研究発表、評議員会、総会、大会シンポジウム

2日目（5月15日）

一般研究発表、理事会、公募ワークショップ、学協会シンポジウム

国際セッション、男女共同参画・若手研究者支援ワークショップ

| 企画 | テーマ | 共催等 |
|---------------------------|---|--|
| 大会シンポジウム | 哲学の政治責任—ハイデガーと京都学派 | 京大文学部・応用哲学倫理学教育研究センター(CAPE) 科研費イベント |
| 提題者 | 林永強(東京大学・非会員) 品川哲彦(関西大学) 森一郎(東北大学) | |
| 司会者 | 未定 | |
| 学協会シンポジウム | 科学と社会と「研究公正」 | 科学技術社会論学会(STS)共催 |
| 提題者 | 中村征樹(大阪大学・非会員・STS、科学史専門、 STAP細胞問題理研改革委員会委員) 藤垣裕子(東京大学・非会員・STS学会会長) 八代嘉美(京都大学IPS細胞研究所・非会員・再生医 療専門) | |
| 司会者 | 水谷雅彦(京都大学) | |
| 哲学教育ワークショップ | 未定 | |
| 男女共同参画・若手研究者 支援ワークショップ | 未定 | |
| 国際セッション | 未定 | |

一般研究発表及び会員企画公募ワークショップの募集

詳細については学会ホームページ (<http://philosophy-japan.org/>) を確認してください。

なお、使用言語は、日本語のほかに、英語、独語、仏語も受け付けます

応募締切：2015年11月13日（金） ファイルは当日必着、印刷物は当日消印有効

V 公募論文

日本哲学会は機関誌『哲学』に掲載する論文を募集しています。論文を投稿しようとする会員の方は学会ホームページに記載されている要領に従って応募して下さい。また、日

本哲学会では Web に掲載する形での欧文誌創刊を検討しています。詳細が決まり次第ホームページにて概要を公開し募集告知を行う予定です。

VI その他

●事務局は上智大学から一橋大学へ移転しました

住所：〒186-8601 国立市中 2-1 一橋大学社会学部社会思想共同研究室

TEL: 080-7015-1317 e-mail: nittetu@philosophy-japan.org

※常駐しておりませんのでご連絡はメールにてお願いいたします。

●会員連絡

日本哲学会では、業務円滑化および経費節減のため、会員宛連絡を「資料郵送」から「メール連絡」へと順次切り替える方針を立てています。印刷物の郵送をご希望の方は事務局まで郵便にてご連絡ください。また、住所、所属機関等、登録されている会員情報内容に変更のある方のご連絡、事務局へのお問い合わせ等は随時メールにてお願いいたします。

●会費納入のお願い

会費を未納の方は至急お納め下さい。会費は年額 6000 円、減額申請を申請し適用された方は 4000 円です。

会費納入先:郵便振替 00190 - 0 - 112651 日本哲学会

インターネットバンキング振込先

ゆうちょ銀行 (店名) 〇一九店 ゼロイチキュウ 当座預金

(口座番号) 0112651 日本哲学会

●会員資格

4 年以上会費未納の会員は日本哲学会会員資格を停止するものとし、学会誌『哲学』等の発送も停止します。会員資格を停止された方は、論文の投稿や大会での研究発表はできません。資格の復活を希望される場合は、事務局までご連絡ください。原則会費未納期間分の全額支払いが条件となります。

●国際交流基金への寄付受付

国際交流基金へのご寄付は随時承っています。お振込先は以下になります。

ゆうちょ銀行 (店名) 〇一八店 (名前) 日本哲学会国際交流基金

(預金種目) 普通預金 (口座番号) 8751303

以上